

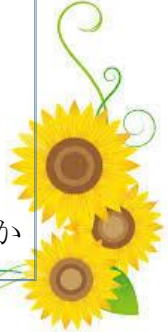
## 石垣ロータリークラブ週報

: 今月のロータリーレート \$ 1=112 円:



2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ

- 四つのテスト  
言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなの為になるかどうかどうか



地区ガバナー: 松坂 順一氏「研修と活性化」

◆クラブテーマ『ロータリーを楽しもう!』

国際ロータリー第2580地区  
今週のクラブ紹介

### 東京江戸川ロータリークラブ

会長: 西川 昭雄 幹事: 山本 昌之 クラブテーマ『ロータリーの原点に戻ろう』  
例会日時: 毎週月曜日 12:30~13:30 例会場: タワーホテル船堀

～ 誕生 1964年7月 ～

#### 東京江戸川ロータリークラブとは

東京江戸川ロータリークラブは、東京東ロータリークラブの3番目の子クラブとして1964年7月に創立されました。会員数では東分区で2番目に大きなクラブです。

#### バナーの由来

クラブのバナーは「日の丸」をロータリーマークとともに並列させることで国家を象徴したのが特徴です。中央に配した三尾の金魚は、江戸川の伝統的な産業となっていた金魚養殖に材をとり、シイボライズしたもの。大、中、小の金魚三尾は、さまざまな職業分類、さらには会員の思想・年代などの相異を表し、RCの中で平和に協調性を発揮して社会奉仕の理念に生きていこうとする、シンボルマークです。



宮良 榮子氏 5日 佐藤 智博氏 6日 上原 秀政氏 17日 森田 安高氏 19日 東上里 和広氏 21日

<11月の予定> 21日(水) 補助金プロジェクト/海星小学校 28日(水) ガバナー公式訪問

会長: 遠藤 正夫 副会長: 橋本 孝来 幹事: 池城 貞光 副幹事: 大田 次男

例会日 水曜日 12:30~13:30  
例会場 アートホテル石垣島 (0980) 83-3311  
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX (0980) 83-2917  
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>  
E-mail [ishirota@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishirota@ninus.ocn.ne.jp)

## 《第15回10月31日(水)例会報告(通算2809回)》

＜司会進行＞ 松林 豊

＜出席報告＞

ロータリーソング: 奉仕の理想 四のテスト  
ソングリーダー: 大浜 勇人  
メイクアップ: 吉田 貴紀・大濱 達也・漢那 憲隆  
上原 晃子・大浜 一郎・今西 敦之  
宮良 幸男・宮良榮子・宮城 早人

会 員 総 数: 44 名 出席義務会員: 43 名  
出 席 数: 29 名 欠 席 数: 14 名  
出 席 率: 67.44 %  
通算出席率: 65.87% (10日)

◆BOX ¥0 (累計¥56,000) ◆コイン ¥3,968 (累計¥35,547) 合 計¥91,547

### 会長挨拶: 遠藤 正夫



皆さんこんにちは。先週の 27 日(土)に東江戸川 RC50 周年記念の式典に、私、南波さん、宮良幸男さん、大浜勇人さんの 4 人で行ってまいりました。錦糸町のホテルで盛大に開催され楽しい 1 日でした。今日、本来ならば「星空欲ツアー」でしたが、あいにくの天気由来週になりました。天気が悪く肌寒くなってきましたので、皆さん風邪引かないよう気をつけて下さい。本日の卓話、東上里和広さんどうぞよろしくお願いいたします。

### 幹事報告: 池城 貞光

11月28日(水)にガバナー公式訪問があります。各委員長は予定を空けて下さい。事前にガバナーとの打ち合わせがありその後、例会になります。来年1月28日(月)に東京上野 RC35 周年事業があり、当クラブと友好ロータリーの締結式を行いますので、多数の参加をお願いいたします。前日の 27 日(日)に入られる方は大相撲の千秋楽、枱席をお取りしていると事なので、希望者は事務局までお願いします。

#### ◆◆◆会員からの報告◆◆◆

◆ロータリー財団委員長: 仁開 一夫 氏  
先週、ミャンマーの学校へ行ってきた事を報告いたしましたが、今日、東江戸川 RC の嶋村さんから「嬉しい報告」があり



まずと連絡がありました。ミャンマーの視察は、個人負担で行ってきましたが、嶋村さんが一生懸命、ミャンマーの学校造りに携わっているのを見て、行った四人で何か出来ないかと考え、フォーエバー財団に「使ってください」と寄付をして来ました。また、ロータリーのメンバーではなく、大同生命の女性の方二人も視察団に加わって来ていましたが、彼女達も個人的に寄付をしたようです。それで「お陰様で寄付していただいたお金でミャンマーにもう一つ学校を造る事ができました」と嶋村さんからご報告がありました。先程、幹事からの報告にもありましたが、東京上野 RC35 周年(2018年1月28日(月))に友好締結式があります。前日の日(1/27)に入って、相撲をご覧になる方は両国国技館に 2 時~2 時半までに来ていただきたいとのことですので、よろしくお願い致します。

#### ◆地区米山奨学副委員長: 大浜勇人氏

今日は米山月間の最終日です。

今日は今西さん欠席しておりますが、今西さんより特別寄付をいただきました。

この場を借りてお礼を申し上げます

「ありがとうございました」。米山月間だけでなく年間通して特別寄付を受け付けておりますので、出来れば皆様からも寄付をしていただけますようお願い申し上げます。

#### ◆プログラム委員会: 我那覇宗広氏

皆さんこんにちは。今日、予定していました「星空欲ツアー」ですが、悪天候のため延期いたしましたので

来週 11 月 7 日に行います。実は 7 日は旧暦の 9 月 30 日で新月です。星空を見るには一番良いベストな日になっておりますので、多くの皆さんに参加して頂きたいと思います。よろしくお願いいたします。





◆テーマ◆  
八重山の木の  
魅力



1972年11月21日生まれ 石垣市大川出身

皆さまこんにちは。今回は会員卓話ということで、私の自己紹介と会社紹介、そして八重山の木の魅力について、お話しをさせて頂きたいと思います。テーブルの上にある資料も合わせて見ていただければと思います。まずは自己紹介をしたいと思います。若干45歳、ふ〜が〜生まれの6人兄弟の末っ子、長男の東上里和広です。なんと上に5名の姉がいます。勤め先は、先日の移動例会、職場訪問で皆様にお越しいただいた、有限会社うえざと木工で、取締役社長をさせて頂いております。復帰の年の1972年11月21日に生まれました。また、1991年には地元の八重山商工高校の電気科を卒業後、東京にある音響の専門学校に進学し、卒業後は音楽・飲食・建築など様々な職種を経験して、1996年に石垣島へ帰ってきました。その後、父が勤めていた木工所に就職しますが、さらなる技術を習得したいと思い、沖縄本島にある木工所に修行しに行きました。厳しい下積み時代を耐え、2000年に石垣島へ戻り、現在のうえざと木工を開業しました。私が勤めるうえざと木工の業務内容は、主にオーダーメイドの建具と家具の製作です。製作依頼の幅は広く、公共工事、こちらの写真は、先月完成した白保小学校の図書室になります。また、住宅の写真は、オーダーメイドのキッチンを依頼いただいた、住宅になります。そして店舗の写真は、石垣空港内にあるマルシェさんの店舗什器の写真になります。ご覧の通り製品の幅はさまざまですが、こだわりのある個人のお客様からのご注文も、数多くいただいております。右下の写真は焼肉屋さんの看板です。しかし、ほとんどの製品作りには欠かせな

い木材は、県外かもしくは海外からの取り寄せとなった木材であり、それが当たり前かのように、創業の時から使っていましたが、いつ頃からか違和感を覚え、父が昔、話していた島の木のことに興味を持つようになりました。そこで「かつて島の生活すべては島の木、島材で作られていた」と話しをする、島材のことを技術と共に熟知している戸真伊さんの工場に何度も足を運び、魅力ある島材の技術と知識を継承できる環境とそれを学べる団体「モッコク会」の発足もできました。今こそもう一度、島材を見直す時だと思っております。この島には、目と鼻の先に豊かな資源があるのに、なぜ僕らは地球の裏側の木材を運んできて使わないといけないのか、本来、地元にあるものを地元で消費するということは、誰が見ても理にかなっているし、一番自然なことだと思っております。八重山には70種類以上の木があります。どれも独特な美しい木目が特徴です。木によっては重いか、軽いか、硬いか、柔らかいか、水に強いとか、シロアリに強いとか様々で、用途で使い分けできる木材が多様多様にあるのも八重山の木の魅力です。その宝を次世代につなげていけるよう、依頼があればワークショップを開催したり、八重山材研究メンバーで山に入り、木板の見本で木目や色、硬さなど、また、木にまつわる面白い話などを、調査、記録しています。今後は島外や県外、大きく言えば海外までも島材の魅力を伝えていけるよう努力していきたいと思っております。八重山の島材には先人たちが残した知恵や物に対する思い、そして石垣島には、海だけでなく山や森にも魅力があるということを、島材を通して伝えていけるよう、今後も努力していきたいと思っております。ご静聴ありがとうございました。



八重山材研究 モッコク会の皆さん





白保小学校 図書室



焼肉屋さんの看板



フィールドワーク



今こそもう一度、島の木材を見直す時です！



### 《第16回 11月7日(水)移動例会報告(通算2810)》

### 『星空浴ツアー』

星を見に行ってきた！  
途中で雲が多くなり中止になりましたが、北極星やスバル、ベガが見れました。そして、流れ星も☆♪



アートホテル石垣島の前で記念写真

### ロータリー米山記念奨学事業

事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“世界と国際理解の推進”そのものです。

特徴その①

### 世話クラブ・カウンセラー制度

—顔の見える交流を大切にしています—

奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブ会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役をつとめます。奨学生は世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、実業人・専門職業人であるロータリアンとの交流を通じて、ロータリーが求める平和の心、奉仕の心を学びます。したがって、米山奨学生には奨学金を受け取るだけでなく、交流を大切にする姿勢が求められます。

特徴その②

### 事業規模の大きさ

—国際奨学事業としては民間最大—

2018 学年度の奨学生数は 852 人、事業費は 14 億円 (2017-18) と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでに支援した奨学生数は累計で 20,396 人 (2018 年 7 月現在) その出身国は世界 127 の国と地域に及びます。



### シンボルマークの意味

重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた、信頼関係を築き、世界の平和を願う“心”を育てるという、事業創設の願いが込められています。手はそうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

豆辞典より引用